世界のバリアフリー児童図書展

-IBBY（国際児童図書評議会）による 2019 年選定図書-

主催：三鷹市立三鷹図書館　共催：日本国際児童図書評議会

バリアフリー児童図書とは、本を読んだり、見たり、理解したり、ページをめくる動作などにバリア（障がい・障壁）がある子どもも楽しめるように、さまざまに工夫された本のことです。今回の展示会では、IBBY が 2019 年に選定した世界 20 ヶ国のバリアフリー児童図書 40 作品を展示します。《IBBY〈国際児童図書評議会〉は、子どもと子どもの本に関わるすべてのひとをつなぐ非営利の世界的ネットワークです。》

日程 **2021 年 4 月 13 日（火）～18 日（日）**

開催時間 **9:30～17:00**

入場無料

※火曜日から金曜日の 17:00～20:00 は図書館開館していますが、展示会場には入場できません。

会場 **三鷹市立三鷹図書館（本館）２階展示ホール**

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策などにより、予定が変更になることがあります。最新の情報は三鷹市立図書館ホームページ（https://www.library.mitaka.tokyo.jp/）でご確認ください。

お問合せ　三鷹市立三鷹図書館（本館）

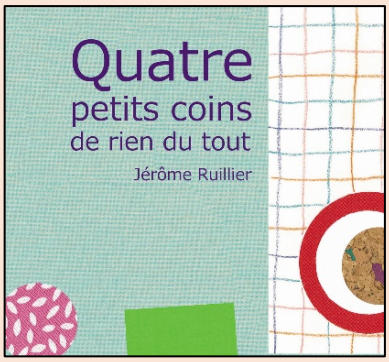
（三鷹市上連雀 8-3-3）

TEL：0422-43-9151　FAX：0422-43-0332

展示会の図書（40 作品）は 3 つのカテゴリーに分けて展示しています。

カテゴリーⅠ　特別な形態のもの

布えほん、点字つきさわる絵本、読みやすい本など、仕様に特別な配慮のある本で、9 作品を紹介します。



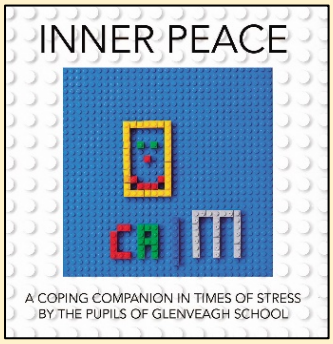
『まったく問題のない　小さな四角のおはなし』 フランス　2017
文･絵:Ruillier,Jerome
原題:Quatre petits coins de rien du tout
出版社:Les Doigts Qui Revent

『モグモグぱっくん』
制作:てのひらの会
2008

※『モグモグぱっくん』は三鷹市内で活動されている、てのひらの会の作品です。三鷹図書館（本館）では、てのひらの会が制作した布えほんの貸出をしています。また、図書展開催期間中、市立図書館全館で布えほんの展示をしています。

カテゴリーⅡ　誰でもたのしめるもの

特別な仕様ではありませんが、誰にでも分かりやすく、学習障がい、知的障がい、発達障がいなどの子どもも楽しめる本を 7 作品紹介します。



『こころの静けさ』
イギリス　2018
制作:Pupils of Glenveagh School
原題:Inner Peace
出版社:Glenveagh Publishing

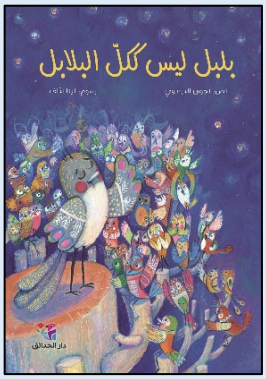
日本からは、以下の 2 作品が選ばれました。

☆『夏がきた』作：羽尻利門
　出版社：あすなろ書房　2017

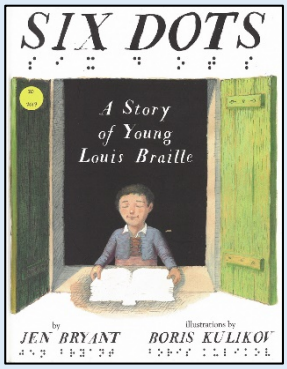
☆『このあいだに　なにがあった？』
　作：佐藤雅彦＋ユーフラテス
　出版社：福音館書店　2017

カテゴリーⅢ　障がいについてのもの

障がいについて描かれている本を 24 作品紹介しています。



『かけがえのない鳥
とくべつなヒバリ』
レバノン　2017
文:Al Diraawi,Najwa　絵:Naddaf,Lina
原題:Boulbol Laysa kakol albalabel
出版社:Dar al-Hadaek Group



『6 この点　点字を発明したルイ･ブライユのおはなし』
アメリカ合衆国　2016
文:Bryant,Jen　絵:Kulikov,Boris
原題:Six Dots:A Story of Young Lois Braille
出版社:Alfred A.Knopf,Ran-dom House Children‘s Books
※日本語版「6 この点　点字を発明したルイ･ブライユのおはなし」(ジェン･ブライアント文、ボリス･クリコフ絵、日当陽子訳、岩崎書店、2017)